

令和6年7月22日

世界自然遺産・知床における携帯電話基地局と太陽光パネルの設置計画の中止を求める意見への賛同について

一般社団法人日本鳥学会
鳥類保護委員会
委員長 澤祐介

日本鳥学会は、鳥学の発展および鳥類保全への学術的貢献を目的とする団体です。標記の件につきまして、令和6年6月19日付で日本環境会議（JEC）より世界自然遺産・知床における携帯電話基地局と太陽光パネルの設置計画の中止を求める意見書が発出されました。日本鳥学会では、本意見書の趣旨に賛同することを表明します。

記

1. 賛同する意見書

発出元：日本環境会議（JEC）理事会

発出日時：令和6年度6月19日

文書名：＜理事会意見書＞世界自然遺産・知床における携帯電話基地局と太陽光パネルの設置計画の中止を求める

<http://www.einap.org/jec/article/pub/28/150>

2. 賛同事由

知床は1964年に国立公園、2005年には世界自然遺産に登録され、半島中央部から知床岬にかけてのエリアは、厳正な保護管理を行う区域と位置づけられている。当該区域において、携帯電話基地局を整備する計画が検討され、太陽光パネル設備を含む計2万6000㎡規模の土地改変工事がなされる予定である。本計画に対し、日本環境会議（JEC）、日本自然保護協会、日本野鳥の会などの自然保護団体等が、国立公園及び世界自然遺産の生物多様性と風致景観の保全に大きな懸念があるなどとして、事業の見直しを求める意見を表明している。また、2024年6月7日に開催された知床世界自然遺産地域科学委員会では、絶滅危惧II類のオジロワシなどへの影響が強く懸念されるとして、工事を中断し、動植物等への影響を再調査するよう環境省に求めている。

世界自然遺産・知床は、上述のオジロワシの他、国際的な希少種であるシマフクロウ、オオワシなどの種の存続に不可欠な場所でもあるとされ（環境省ウェブサイト）、今回の事業がこれらの鳥類へ重大な影響を与えうることから、日本鳥学会鳥類保護委員会として当該意見書に賛同するものである。

以上

¹ <https://www.env.go.jp/nature/isan/worldheritage/shiretoko/uiiversal/index.html>

【連絡先】

一般社団法人日本鳥学会

鳥類保護委員会委員長 澤祐介

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 115

山階鳥類研究所気付

電話番号：04-7182-1107

Email : sawa@yamashina.or.jp